

# 県北地域 サイクルツーリズム推進協議会

## 第3回協議会

令和3年2月19日

# 〈 内 容 〉

- 1 モデルルートの決定について
- 2 モデルルートの名称について
- 3 利用環境の整備について
- 4 情報発信・広報について
- 5 モデルルートの活用について

# 1 モデルルートの決定について



# 1-2 モデルルート(案)の試走の結果

## (2)第4回試走会

### ○第4回試走会

#### 1)日時

令和2年11月25日(水)

午前10時から11時30分

#### 2)目的

モデルルートの追加(案)における走行性の確認を行った

### ○試走会の概要

#### 1)ルート

「ゲートウェイ(JR那須塩原駅)」～

「モデルルート(県道矢板那須線 木綿畑交差点)」

往復約20km

#### 2)参加者

益子県土整備部次長、事務局 計3名

### ○試走者からの意見

- ・今回のルートは、路肩が広く、走行し易かったこともあり、快適なサイクリングであった。
- ・季節柄、枯れ葉や枝、小石が落ちていたが、走行上危険であるため、サイクリストの目線に立った、道路の維持管理が必要である。



# 1-4 モデルルート(案)の試走の結果

## (4)第5回試走会

### ○第5回試走会

#### 1)日時

令和2年11月27日(金) 午前9時30分から12時

#### 2)目的

モデルルートの追加(案)における走行性の確認や走行上の注意点等について意見交換を行った

### ○試走会の概要

#### 1)ルート

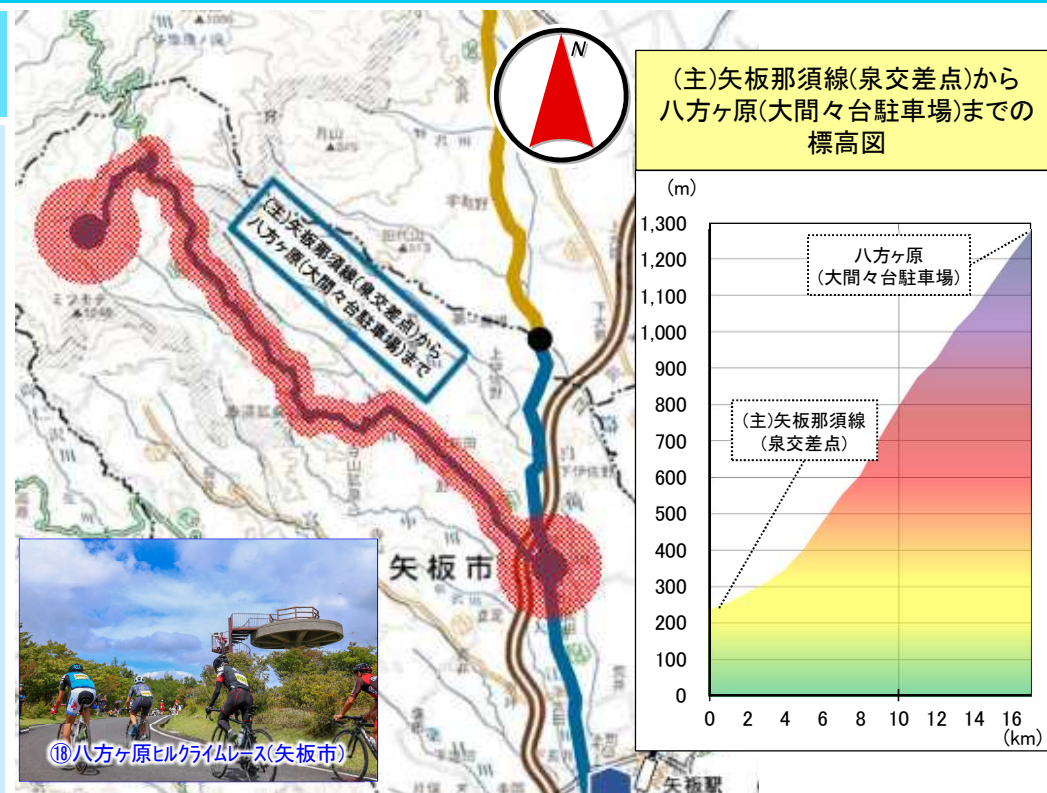
「モデルルート(県道矢板那須線 泉交差点)」～  
「八方ヶ原(大間々台駐車場)」 片道約17km  
※上級者向けの上り勾配の厳しい山岳区間

#### 2)参加者

宇都宮ブリッツェン:堀選手、那須ブラーゼン:柴田選手  
柿沼委員、若杉委員、委員代理(矢板市)、事務局外 計13名

### ○各委員からの意見

- ・序盤から勾配がきつく、初心者にはかなり厳しいが、上級者には最高のフィールドである。このような上級者向けのルートを追加設定することで、モデルルートの魅力向上に繋がる。
- ・登りは多少無理をしても命の危険はそれ程無いが、下りは無理をすると落車等により命に関わる事故に繋がるおそれがあるため、登りで疲れている時は必ず休憩し、絶対に無理をさせないよう案内することが重要である。
- ・どのレベルのサイクリスト(上級者から初級者まで)が走行出来るのかを判断するための事前の情報が必要である。他のルートと異なる山岳ルートであることから、距離表示等の走行中に得られる情報が提供できると良い。
- ・矢板市では、ヒルクライムレースをきっかけとして練習で何度も訪れてもらえるようなアプローチで誘客に繋げたい。今後、ヒルクライマーの聖地となるよう、サービス向上や受入環境の整備などを考えなければならない。



# 1-7 モデルルート(案)

## (7)概要

○通過市町は、全6市町

- 1)大田原市、2)矢板市、
- 3)那須塩原市、4)さくら市
- 5)塩谷町、6)那須町

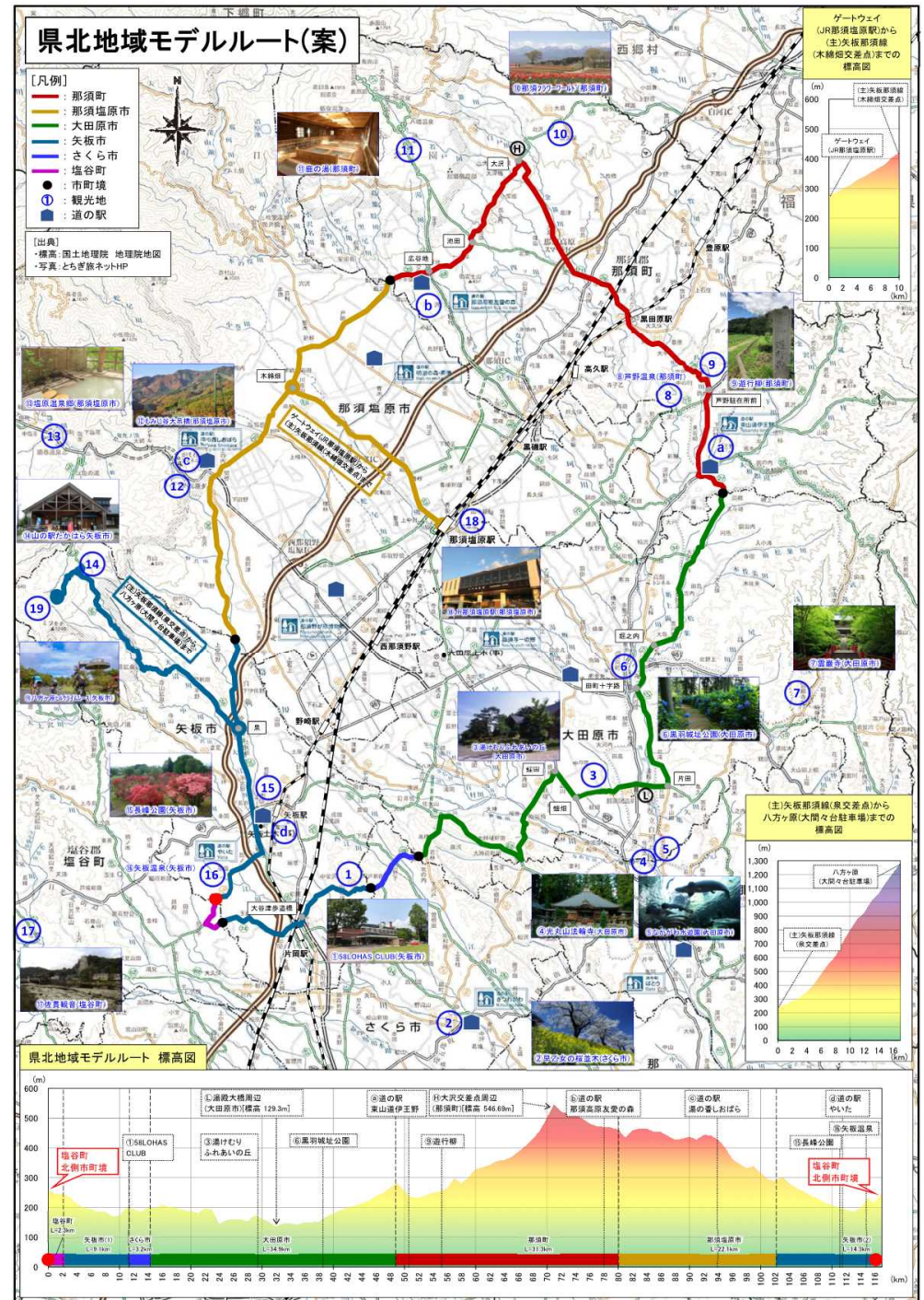
○全延長約144kmで設定

最大標高は約1,280m

最小標高は約130m ※標高差約1,150m

○南北にJR東北新幹線と東北本線が貫き  
中央には那須塩原駅、南北には片岡駅と  
黒田原駅が位置

○JR線の東側のエリアは、那珂川や田園  
の風景、社寺等の歴史や文化が魅力  
西側のエリアは、那須連山や木々の中の  
風景、那須高原ミルク街道沿線の酪農地  
域が魅力



## 2 モデルルートの名称について



# 2-1 モデルルート(案)の名称選定

## (1) 概要等

### 【概要】

- 「県北地域のサイクリングルートの名称を選ぼう！」
- ・県北地域モデルルート(案)の名称について、多くの方に愛され、親しまれる名称選定の投票を実施
  - ・3つの候補の中から、1つを選んで投票

### 【候補名】

- (1) 栃木県サイクリングルート “那須くるっ”
- (2) 栃木県サイクリングルート “ぐる那須”
- (3) 栃木県サイクリングルート “ナス1(イチ)”

### 【投票期間】

- ・投票時期： 令和2年12月29日(火)から  
令和3年1月27日(水)まで
- ・投票期間： 約1ヶ月

### 【周知方法】

- ・県や市町、宇都宮ブリッツェン、那須ブラーゼン、高坂委員、棚橋委員のホームページやSNSへの掲載
- ・県、市町の総合窓口、各市町の公共施設や観光協会、各道の駅でチラシの配布(約1,300部)

## 県北地域のサイクリングルートの名称を選ぼう!



栃木県では、サイクルツーリズムの推進に向け、快適な自転車走行環境の整備や優れた地域資源を活用した魅力的なサイクリング環境(モデルルート)の創出など、新たな取組を進めております。

現在、県北地域サイクルツーリズム推進協議会において、那須連山の雄大な景色や温泉、牧場、また那珂川や田園風景、社寺等を巡る県北地域モデルルート(案)の検討を行っており、本年度中に設定する予定です。

この度、本ルート(案)の名称について、本協議会において3つの候補が選ばれましたので、多くの方に愛され、親しまれる名称選定の投票を行います。

### 1 投票期間

令和2(2020)年12月29日(火)から **令和3(2021)年1月27日(水)まで**



### 2 投票方法

右のQRコードを読み取るか、栃木県ホームページのサイト内検索から「県北地域のサイクリングルートの名称を選ぼう!」を検索の上、専用フォームから投票してください。

### 3 名称の候補

(1) 栃木県サイクリングルート “那須くるっ”

〔説明〕 那須をくるっとサイクルで“那須くるっ”

東京オリンピック代表の宇都宮ブリッツェン 増田成幸選手「直筆サイン入りTシャツ」(1名)と「タオル」(5名)、那須ブラーゼンの「タオル」(5名)の素敵なプレゼントが抽選で当たります!

(2) 栃木県サイクリングルート “ぐる那須”

〔説明〕 ぐるっと那須をめぐる“ぐる那須”

(3) 栃木県サイクリングルート “ナス1(イチ)”

〔説明〕 那須(ナス)を一周“ナス1(イチ)”



# 2-2 モデルルート(案)の名称選定

## 【投票方法】

- 各ホームページ・SNS・チラシ等にあるQRコードを読み取り専用フォームから投票
- 【栃木県ホームページ】 【専用フォーム】

### 県北地域のサイクリングルートの名称を選ぼう！

本県では、サイクルツーリズムの推進に向け、自転車走行環境を整備し、優れた地域資源を活用した、魅力的なサイクリング環境（モデルルート）を創出するなど、新たな取組を進めております。

現在、県北地域サイクルツーリズム推進協議会を設立し、那須連山の雄大な景色や温泉、牧場、また那珂川や田園風景、社寺等を巡る県北地域モデルルート（案）について検討を行っていただいております、本年度中に設定する予定です。

この度、本ルート（案）の名称について、本協議会において3つの候補が選ばれましたので、多くの方々に愛され、親しまれる名称選定の投票を行います。

なお、採用された名称に投票していただいた方の中から抽選で、東京オリンピック代表の宇都宮ブリッツェン増田成幸選手「直筆サイン入りTシャツ」と「タオル」、那須ブラーゼンの「タオル」の素敵なプレゼントが当たります。

記

#### 1 投票期間

令和2(2020)年12月29日（火曜日）から令和3(2021)年1月27日（水曜日）まで

#### 2 投票方法

以下のQRコードを読み取るか、[こちらをクリック](#)（外部サイトヘリンク）してアクセスの上、専用フォームから投票してください。



#### 3 名称の候補

(1) 栃木県サイクリングルート“那須くるっ”

〔説明〕：那須をくるっとサイクルで“那須くるっ”

(2) 栃木県サイクリングルート“ぐる那須”

〔説明〕：ぐるっと那須をめぐる“ぐる那須”

(3) 栃木県サイクリングルート“ナス1（イチ）”

〔説明〕：那須（ナス）を一周“ナス1（イチ）”

#### 4 関連資料

[県北地域モデルルート（案）](#)（PDF：518KB）

#### お問い合わせ

交通政策課 道路計画担当  
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20 県庁舎本館14階  
電話番号：028-623-2409  
ファックス番号：028-623-2399  
Email：kotsu@pref.tochigi.lg.jp

### 県北地域のサイクリングルートの名称を選

※採用された名称に投票していただいた方の中から抽選で、東京オリンピック代表の宇都宮ブリッツェン増田成幸選手「直筆サイン入りTシャツ」と「タオル」、那須ブラーゼンの「タオル」の素敵なプレゼントが当たります。

本県では、サイクルツーリズムの推進に向け、自転車走行環境を整備し、優れた地域資源を活用した、魅力的なサイクリング環境（モデルルート）を創出するなど、新たな取組を進めております。

現在、県北地域サイクルツーリズム推進協議会を設立し、那須連山の雄大な景色や温泉、牧場、また那珂川や田園風景、社寺等を巡る県北地域モデルルート（案）について検討を行っていただいております、本年度中に設定する予定です。

この度、本ルート（案）の名称について、本協議会において3つの候補が選ばれましたので、多くの方に愛され、親しまれる名称選定の投票を行います。

Q1 次の3つの候補から1つを選んで投票してください。 \*

- 栃木県サイクリングルート“那須くるっ”（説明）那須をくるっとサイクルで“那須くるっ”
- 栃木県サイクリングルート“ぐる那須”（説明）ぐるっと那須をめぐる“ぐる那須”
- 栃木県サイクリングルート“ナス1（イチ）”（説明）那須（ナス）を一周“ナス1（イチ）”

Q2-1 採用された名称に投票していただいた方の中から、抽選で素敵なプレゼントが当たります。 \* 次の選択肢から希望する内容を選んでください。

- 東京オリンピック代表の宇都宮ブリッツェン増田成幸選手「直筆サイン入りTシャツ」：1名
- 宇都宮ブリッツェン「タオル」：5名
- 那須ブラーゼン「タオル」：5名
- 希望しない

## 2-3 モデルルート(案)の名称選定の結果

### 【投票総数】

651票

### 【投票結果】

第1位	栃木県サイクリングルート “ナス1(イチ)”	<u>239票</u>
第2位	栃木県サイクリングルート “那須くるっ”	<u>214票</u>
第3位	栃木県サイクリングルート “ぐる那須”	<u>198票</u>

### 【名称決定】

上記の投票結果を踏まえ、県北地域モデルルート of 名称を

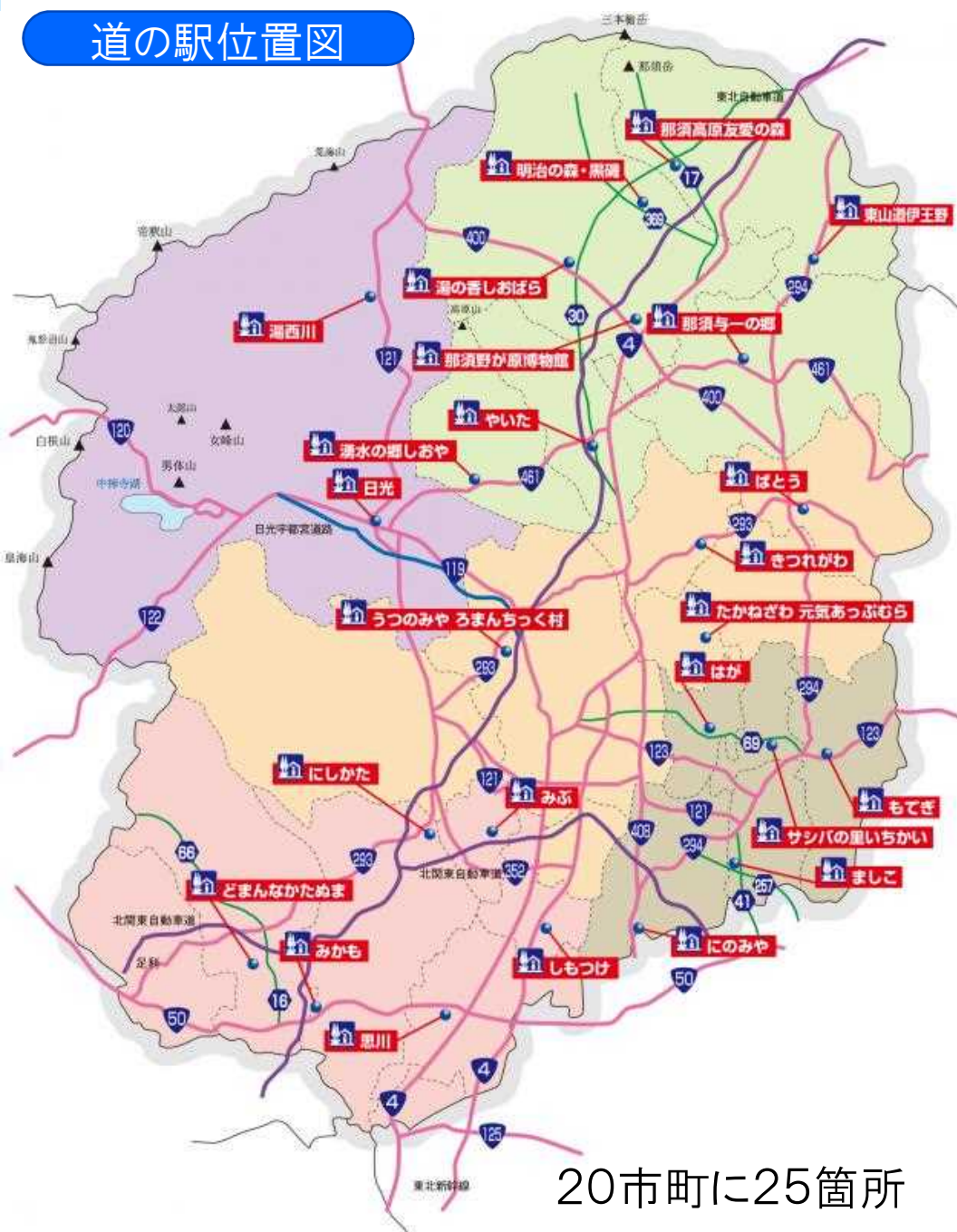
**「栃木県サイクリングルート “ナス1(イチ)”」**

に決定します。

### **3 利用環境の整備について**

# 3-1 利用環境整備

- サイクルツーリズムを推進するため、サイクリストが快適に利用できる環境整備を進める。
- 県内には、「道の駅」が20市町に25箇所ある。
- 「道の駅」は、道路利用者のための駐車場等の休憩施設や24時間利用可能なトイレ、道路情報や地域の観光情報が得られ、地理的に概ね満遍なく設置されていることから、全道の駅をサイクルステーションとして活用する。
- 利用環境の向上のため、サイクルラック、空気入れ、メンテナンス工具の3点を整備する。



## 3-2 利用環境整備

- サイクルラック、空気入れ、メンテナンス工具が未整備である「道の駅」については、新規に設置する。また、整備済みの「道の駅」についても補充する。
- サイクルラック等の設置は、サイクルラック:3基、空気入れ:マルチタイプ式(英・仏・米)、メンテナンス工具:一式を目安とする。
- 「道の駅」がサイクリステーションであることが分かる様、統一したロゴマークを設置する。
- ロゴマークは、サイクルラック、空気入れ、メンテナンス工具の設置箇所に掲示する。

### 「道の駅」の利用環境整備状況

#### 【サイクルラック】

- ・整備済み(3基以上) 6箇所
- ・整備済み(2基以下) 17箇所
- ・未整備 2箇所

#### 【空気入れ】

- ・整備済み(マルチタイプ) 3箇所
- ・整備済み(2タイプ以下) 12箇所
- ・未整備 10箇所

#### 【メンテナンス工具】

- ・整備済み 7箇所
- ・未整備 18箇所

### サイクルラック等

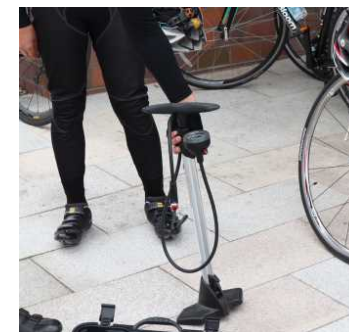


▲ サイクルラック



▲ メンテナンス工具

### ▼ 空気入れ



### ▼ バルブの種類



英式バルブ

仏式バルブ

米式バルブ

一般的な自転車

ロードバイク

マウンテンバイク

## 4 情報発信・広報について

# 4-1 情報発信・広報

## ○情報発信

誰もがどこでも容易に情報が得られる様にするため、以下の内容の情報発信を行う。

- 1) サイクルツーリズムのポータルサイト  
(PC・スマートフォン版)
- 2) 魅力的なモデルルート of サイクルマップ

## ○ポータルサイト

- 1) 本県の観光情報サイトでアクセス数の多い「とちぎ旅ネット」を活用

### 2) 掲載内容

- ・モデルルート
- ・観光情報
- ・宿泊情報
- ・イベント情報

⇒ 県内の自転車情報を一元的に提供

- 3) 日本語のほか、英語による情報提供





# 4-2 情報発信・広報

## ○サイクルマップ

利用者(サイクリスト)が見やすく分かりやすいデザインとし、必要な情報掲載する。

### 1) 掲載内容

- ・本県へのアクセス
- ・本県の概要
- ・モデルルート(距離、高低差(勾配))
- ・観光情報
- ・宿泊情報
- ・イベント情報

### 2) 印刷仕様

- ・A2サイズの両面
- ・ハードカバー付き(表紙・裏表紙)
- ・ミウラ折り(折りたたむとサイクルジャージに入る大きさ(約11cm×8cm))

### 3) 配布先

- ・道の駅
- ・各市町の観光協会
- ・沿線の観光施設等



## 5 モデルルートの活用について

## 5-1 モデルルートの活用

○県地域振興課

「ぐるとち2021」について

○県観光交流課

「サイクルツーリズム推進事業」について

○矢板市経済建設部 商工観光課

「県北地域モデルルートを活用した誘客策」について

○那須ブラーゼン(NASPO株式会社)

「県北地域サイクルツーリズムにおける事業実施」について

○(株)栃木プロジェクトプロ

「那須高原オールスポーツアソシエーションの取組」について